

# 平成27年度部長マニフェスト取組結果

|        |       |
|--------|-------|
| 部(局)名  | 学校教育部 |
| 部(局)長名 | 羽間 功  |

【達成度について】  
 A：達成（設定した目標を達成することができた。）  
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）  
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

|        |          |
|--------|----------|
| 重点課題 4 | 確かな学力の育成 |
|--------|----------|

|        |
|--------|
| 全体の達成度 |
| A      |
| 達成     |

|         |   |
|---------|---|
| 目指すべき方向 | 子どもたちに基礎基本を身につけさせ、主体的に課題を見出し解決する能力を育成します。 |
|---------|---|

| 活動目標  | 具体的な取組実績  |
|---|---|
| 各中学校ブロックにおいて、小中一貫教育の実践を進めることにより、9年間を見とおした教育を行います。 | → 全ての中学校ブロックで小中合同研修会を開催するとともに、授業公開・参観を実施しました。   |
| 学習習慣の定着と学習意欲の向上を目指し、放課後の学習支援を行います。                | → 40人の学習支援者ととともに、小学校9校、中学校3校で放課後学習支援事業を行いました。   |
| 指導方法を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ります。                       | → 全小学校にて算数（学校により国語、理科）、全中学校にて数学・英語（学校により国語）の少人数指導を行い、きめ細かな指導の充実を図りました。  |
| 情報教育機器の活用を進めます。                                   | → 市内小中学校の教員で構成するICT活用研究グループが、部会を10回開催し、情報教育機器の活用について研究しました。研究した内容は教育研究報告会等で発信し、小学校においてタブレットパソコンを活用した公開授業を2回行いました。 |

| 達成目標                    | 達成状況   | 達成度     |
|-------------------------|--|---------|
| 全ての中学校ブロックで、公開授業を実施します。 | → 全ての中学校ブロックで授業公開・参観を行うことに加え、6つの中学校ブロックでブロック合同研究授業を開催することができました。 | A<br>達成 |

## 平成27年度部長マニフェスト取組結果

|   |          |   |                 |
|---|----------|---|-----------------|
| <p>実施校における子どもの学習習慣の定着と学習意欲の向上を図ります。</p> | <p>→</p> | <p>学習支援者数は昨年度28名であったのに対し、今年度は40名（H28年1月末現在）でした。また、学習支援者の配置回数は昨年度264回であったのに対し、今年度は280回（H28年1月末現在）でした。実施校からは、参加児童・生徒が本取組に対して肯定的な反応を示しているとの報告を受けています。実施校数は増加しませんが、以上のように、支援者数や配置回数は増加し、参加者の受け止めも良いことから、実施校における子どもたちの学習習慣の定着と学習意欲の向上に資する取組となりました。</p> | <p>A<br/>達成</p> |
| <p>すべての学校で習熟度別少人数指導を実施します。</p>          | <p>→</p> | <p>小学校36校に47名、中学校18校に48名の少人数で行う授業の担当者を配置し習熟度別少人数指導で授業を行うことで児童・生徒の実態に合ったきめ細かな指導に取り組みました。</p>   | <p>A<br/>達成</p> |
| <p>情報教育機器を活用した授業を進めます。</p>              | <p>→</p> | <p>タブレットを活用した授業を実施したことがある教員が、小学校で270%増の230名、中学校で257%増の108名となり、情報教育機器を活用した授業の推進を図ることができました。</p>  | <p>A<br/>達成</p> |

### 総合評価・総括

放課後学習では、外部支援者の活用や各校における放課後を活用した取組の充実により、自学自習力の向上へとつながりました。引き続き「学力の向上」に関する取組を充実させていきます。  
また、タブレットパソコンや既存の情報教育機器については、教員が普段から活用できる事例等を発信することができました。